

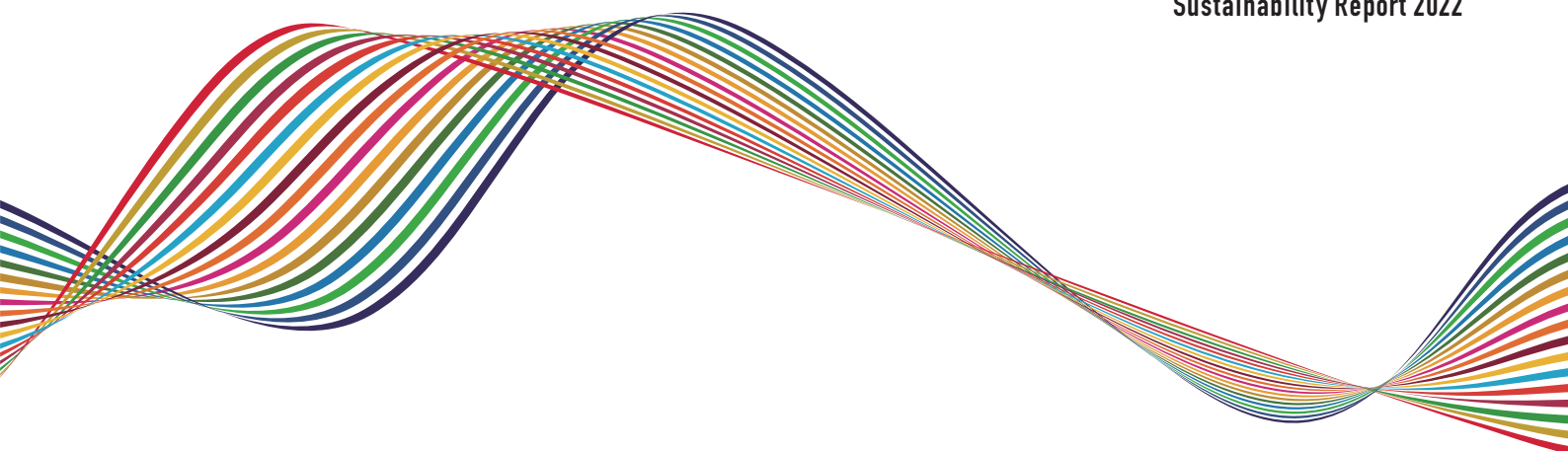


トヨタエンタプライズの サステナビリティ レポート

2023年7月1日

2022

Sustainability Report 2022



目 次

1. はじめに	1
2. 2022年度の取組概要	2
3. 2022年度の取組事例	3
4. 2023年度以降の取組	6
5. 社外有識者レビューコメント	7

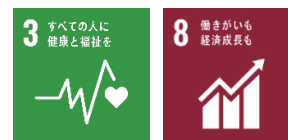
免責事項

株式会社トヨタエンタプライズは、本レポートの記載内容に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。これは、たとえ、株式会社トヨタエンタプライズがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。株式会社トヨタエンタプライズは、本レポートの論旨と一致しない他の資料を発行している、または今後発行する可能性があります。

『サステナビリティ レポート2022』は、株式会社トヨタエンタプライズ(以下、TEP)が持続可能な社会の構築への貢献に向けて、国連の『ビジネスと人権に関する指導原則』を踏まえた『SDGs宣言』に関する様々な活動をステークホルダーの皆様にお伝えすることを目的としています。

宣言1) 健康と安全の維持

自社の活動を通じて安全衛生・交通安全活動を行い、サプライヤーを含む働く仲間の健康・安全意識を高め、安全・安心・快適なサービスを提供し続けます。



宣言2) プロ人材を増やす

必要な知識・技能・経験を持った人材の育成を推進し性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、意欲的で多様な働き方ができる会社を目指します。



宣言3) 環境負荷の低減

調達から廃棄までの全ての過程において、環境負荷の軽減に努め、環境に関する提案やカイゼン活動を推進します。



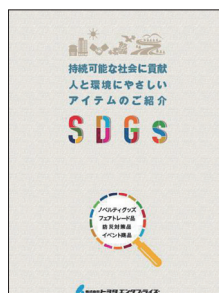
2022年度はTEP SDGs宣言3(環境負荷の低減)に向け、全社をあげてカーボンニュートラル(環境負荷低減)に関わる目標を設定、また、ゴール17(パートナーシップで目標を達成しよう)の取組として、SDGs目標の実現に向けた仲間づくりを進めるとともに、SDGs宣言以降の社内活動についてまとめた『サステナビリティレポート2021』を発行するなど、社内に留まらない活動に取り組んでまいりました。

以下、その活動についてご報告させていただくとともに、2023年度以降の活動の方向性について記載しています。

発行日 2023年7月1日



サステナビリティレポート2021



SDGsにつながる商品紹介リーフレット



社内報『TEPNEWS』Vol.122号



SDGsをテーマとした社外有識者による講演(TEP 創立70周年記念式典)

2022年度 取組スケジュール

日程	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
フェーズ	方針策定	カーボンニュートラル・環境負荷低減の取組推進 ゴール17(パートナーシップで目標を達成しよう)の取組推進		活動の振り返り
実施事項	◆カーボンニュートラル・環境負荷低減 ①目標設定	◆SDGs目標の実現に向けた仲間づくり ②ゴール17(パートナーシップで目標を達成しよう)の取組	◆活動の社外発信 ③「サステナビリティレポート2021」発行 (会社ホームページ掲載)	◆取組意識向上 ④SDGsにつながる商品拡販 ⑤創立70周年記念式典内でのSDGsをテーマとした社外有識者による講演実施 ⑥TEP SDGs宣言1・宣言2に関する取組増強を検討

SDGsの目標が2030年に達成されるよう、TEPが事業活動を通じた取組を推進していくにあたり、2022年度は会社方針・部所長方針にSDGsを関連付けるなど、全従業員意識の向上とSDGs目標の実現に向けた仲間づくりを含む活動の社外発信に取り組んでまいりました。

① 目標設定

SDGsを会社方針や部所長方針と関連付けながら、TEP SDGs宣言3(環境負荷の低減)に向けて『エネルギー効率改善』、『消費電力削減』、『ペーパーレス』の推進などの目標を設定し、全社をあげてカーボンニュートラルや環境負荷低減を推進。

② ゴール17(パートナーシップで目標を達成しよう)の取組

自治体の行う交流会などへ積極的に参加し、SDGsに関する新たな仲間づくりを通じてTEPとしてもっとやれることがないかを検討。2022年度は2社と連携し、『SDGsにつながる商品の拡充』と『TEPが管理運営する施設で地域住民に向けたSDGsに関わる講座開催』を実施。

③ TEP初のサステナビリティレポート作成、発行

TEPのSDGsへの取組や姿勢を広く知っていただくため、2021年度の活動を取りまとめたTEP初の『サステナビリティレポート2021』を発行し、会社ホームページ内『サステナビリティ』ページへ掲載。

④ SDGsにつながる商品拡販

SDGsにつながる商品を販売するなかでお客様からいただいたご意見などを元にリーフレットを発行。SDGsにつながる商品の紹介および販売をすることで、購入会社様のSDGsに貢献するとともに、TEP従業員がSDGsをより自分事として捉えられるよう推進。

⑤ 創立70周年記念式典でのSDGsをテーマとした社外有識者による講演実施

TEP創立70周年記念式典内で、社外有識者による『従業員の働き甲斐とSDGs』をテーマとした講演を実施。講演の様子を全従業員に展開することで、従業員一人ひとりが『会社の経営戦略とSDGsの関連』、『従業員の生活や社会とSDGsの結びつき』を改めて意識し、活動を継続していくことの重要性を再確認。

⑥ TEP SDGs宣言1、宣言2に関する取組増強を検討

宣言1(健康と安全の維持)および宣言2(プロ人材を増やす)に関わる社内の取組について現状把握を実施。主に、ゴール3(すべての人に健康と福祉を)・4(質の高い教育をみんなに)・5(ジェンダー平等を実現しよう)の取組増強を見据え、2023年度の安全衛生に関する方針へのSDGs観点盛り込みや、従業員の目を引く情報発信の実施などを検討。

⑦ 点検・評価

①で設定した目標に対し、エネルギー効率改善のうち、お客様向けの取組では目標を達成することが出来た。一方で社内の消費電力削減は、コロナ明けの出勤率・稼働率の増加などもあり、目標(2021年度比1%削減)に対し0.04%減にとどまり目標未達となった。ペーパーレスについても全社で11%の削減を達成するも目標(2021年度比20%減)には届かず、削減率は職場ごとにはばらつきが見られた。2023年度は2022年度の取組から好事例を社内共有し、引き続き取組を継続。

TEP「SDGs宣言1」に関連する取組（健康と安全の維持）



【交通安全】

TEPターゲット*のうち、『交通事故のない世界を目指し、社内の業務上・通勤上の交通事故ゼロの達成と交通安全にかかわる事業を継続します』の達成に向けて、東富士地区の職場では、毎週金曜日に輪番で安全に関する講話を行い、休日中も安全考動を意識できるよう注意喚起をしています。また、業務用車を運転する際には、周囲から通勤時に気付いた工事情報や当日の天候、危ないと感じた場所などの声掛けを行うなど、職場全体でタイムリーな情報を持ち寄り共有することで、業務上・通勤上の交通事故ゼロに努めています。

※TEPターゲット：TEPの従業員がSDGsを自分事として捉え、社会課題の解決や持続可能な社会への貢献という意識を持って日々の業務を推進するにあたり、どのように貢献するかを明確にして社内での理解を促進するために設定した19の目標。



【交通安全】

自動車開発支援を中心に業務を行う職場では、運転自己診断（性格など）および、棒反応テスト（敏しょう性）を全従業員で行い、自身の特性について理解を深めることで安全意識の向上を図り、TEPターゲット『交通事故のない世界を目指し、社内の業務上・通勤上の交通事故ゼロの達成と交通安全にかかわる事業を継続します』の達成に努めています。



TEP「SDGs宣言2」に関連する取組（プロ人材を増やす）



【資格・技能等習得】

お客様からの委託業務でTEPが施設管理などを行うトレッサ横浜において、来館者へのサービスに携わる全従業員で『普通救命技能認定』の取得に取り組んでいます。2022年度は受講者全員が認定を受けるなど、従業員の知識と意識の向上と来館者の安全確保に努めています。（当施設は地域の災害時応援協力施設として位置づけられている。）



【働きやすい職場づくり】

トヨタ産業技術記念館でTEPが運営を行う職場では、ダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けて、誰もがサービスの第一線で活躍できるよう、職場内の情報交換・相互理解を進めています。個人に合わせた新しい業務ポジションを設定するなど、働きやすい職場環境づくりに取り組むことで、人々の社会的・経済的な機会均等の促進に貢献しています。



トヨタ産業技術記念館提供

TEP「SDGs宣言3」に関連する取組(環境負荷の低減)



【ペーパーレス】

お客様からの委託業務でTEPが運営するコンタクトセンターでは、業務見直しによるペーパーレス・コピー機の消費電力量削減に取り組んでいます。従来はFAXで送付していた資料をお客様のご理解のもと、データ送付へ変更しました。また、使用する資料の印刷削減に取り組むことで、当職場での印刷量を前年比92.5%削減するとともに、相当分のコピー機使用電力を削減しました。これら地道な活動の積み重ねによりCO2削減・環境負荷の低減を図っています。



【フードロス】

TEPが指定管理者として運営している半田赤レンガ建物のレストランでは、廃棄物を出しやすいメニューの見直しや、店内で仕込んだ調理品を真空冷凍保存することで、食品ロスの削減につなげています。日頃から廃棄物を出しにくい仕組みづくりに取り組んでいます。



【除草剤代替施工】

除草剤散布による影響や近隣への配慮(植物・水質・薬剤に過敏な方など)から、高温水をかけて植物を枯らしていく温水除草に取り組んでいます。周辺環境に影響を与えない取組として、環境負荷の低減を図っています。



その他のTEPが貢献するSDGsゴール



【パートナーシップ】

TEPでは、自治体の行う交流会などに積極的に参加し、SDGs目標の実現に向けた仲間づくりを推進しています。交流会で出会った企業様と連携し、TEPが運営する施設において講座を開催することで、地域住民へSDGsにつながる学びの場を提供しています。



コンプライアンスの取組

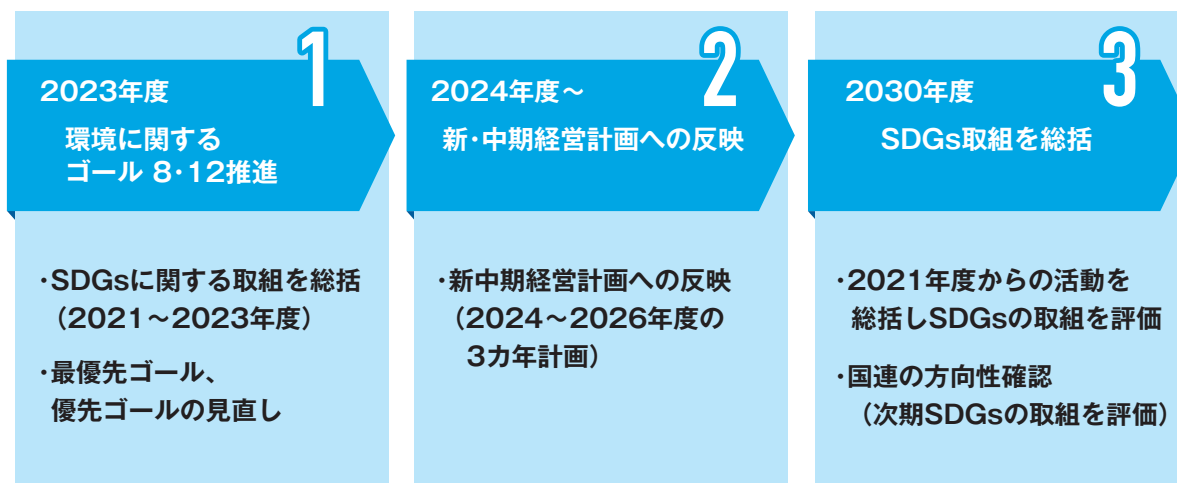
【コンプライアンスの維持と徹底】

TEPでは、従業員の一人ひとりが正しい知識と高い意識を持つために、コンプライアンス研修を実施しています。法改正による注意点などのeラーニングを実施し、理解度チェックと要点を学ぶとともに、職場自主点検や本社部署による巡回点検、点検結果のフィードバックを定期的に行っています。

また、『コンプライアンス ハンドブック』を作成・更新し、業務に関わる多くの法令などを事例とともに分かりやすく紹介するなど、いつでも復習や必要事項の確認ができる環境づくりを行い、コンプライアンスの徹底に努めています。



2023年度以降の取組スケジュール



- ① 2023年度は、環境に関するゴール8・12の取組を継続しつつ、新中期経営計画(2024～2026年度)を見据え、宣言1と宣言2に関する取組にも注力。また、従業員に向けた情報発信を定期的を実施し、改めてサステナビリティの考え方の浸透を図るとともに、2021年度からのSDGsに関する取組を総括した上で、必要に応じ最優先ゴール・優先ゴールの見直し実施。ゴール17(パートナーシップで目標を達成しよう)の取組を継続し、SDGs目標の実現に向けた仲間づくりを通じてTEPとしてもっとやれることがないか検討。
- ② 2024年度は、2023年度に行うSDGsに関する取組の総括結果を新中期経営計画(2024～2026年度の3カ年計画)へ反映。(予定)
- ③ 2030年度は、国連が定めるSDGsゴール達成の期限を迎えるためTEPの2021年度からの活動を総括するとともに国連の方向性を確認した上で、以降の取組の在り方を検討。(予定)

TEPのSDGsへの取組は、取組初年度からより強化され、従業員全員で取り組む姿勢が窺えます。SDGsは貧困、教育、ジェンダー平等、気候変動など、私たちが直面する最も重要な課題に対処するための共通のビジョンであり、持続可能な開発のためには、政府、企業、市民社会が連携して取り組む必要があります。

昨年度においては、ダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けて、働きやすい職場づくりへの取組がなされ、個々の従業員が活躍できるポジションの創設など努力もされています。本年度もより一層の活動を推進していただきたいと思います。

また、環境への取組も多く推進されています。地球温暖化の対策といった重要な課題に対処するために、ペーパーレス化を推進したことや住環境への負荷低減に資する温水除草なども重要な取組だと思います。そして、SDGsの推進に貢献するパートナーとのセミナー開催など新たな取組として評価できるのではないかと思います。

他方で、SDGsは、持続可能な開発を実現するためのグローバルな取組であり、経済、社会、環境の三つの側面をバランスよく考慮しながら、より公正で持続可能な未来を築くための枠組みとして位置付けられています。継続的に経済、社会、環境の三つの側面をバランスよく、特にTEPにおいては社会面への取組を強化させながらSDGsへの取組を行っていただければと思っています。

和田征樹(一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン 代表理事)

